

平成十四年五月二十四日提出
質問 第七七号

郵便貯金・簡易保険の規模等に関する質問主意書

提出者 玄葉光一郎

郵便貯金・簡易保険の規模等に関する質問主意書

平成十四年五月二十一日（火）衆議院本会議における「日本郵政公社法案外三法案」に関する質疑の中で、民主党荒井聰衆議院議員の質問に対し、小泉総理大臣より、「財政投融資制度を含めた抜本的な改革につなげていきたいと思っております。」との答弁があつた。

これに関連して、以下質問する。

郵便貯金・簡易保険の規模は過大であるとの見解を有しているか否か、明らかにされたい。過大ではないとの見解を有している場合について、郵便貯金・簡易保険の資金規模の見直しなくして、如何なる「財政投融資制度を含めた抜本的な改革」を行うつもりなのか、明らかにされたい。また、過大な規模であるとの見解を有している場合について、どのような改善策を講じるつもりか明らかにされたい。更に、関連して、郵便貯金の預入限度額引き下げを検討しているか否か、時期・具体的な金額も含めて、明らかにされたい。

右質問する。